

大会名 Competition	第68回 秋田県民体育大会バスケットボール競技 兼第72回「愛顔（えがお）つなぐえひめ国体」秋田県代表スタッフ・選手選考会
女子決勝	Year Month Day Time 2017 年 7 月 2 日 11 : 00
場 所 Place	横手市増田体育館



秋田県バスケットボール協会

チームA		チームB										
秋田銀行	<table border="1"> <tr><td>15 1st</td><td>13</td></tr> <tr><td>24 2nd</td><td>20</td></tr> <tr><td>25 3rd</td><td>7</td></tr> <tr><td>17 4th</td><td>12</td></tr> <tr><td>OT</td><td></td></tr> </table>	15 1st	13	24 2nd	20	25 3rd	7	17 4th	12	OT		プレステージ
15 1st	13											
24 2nd	20											
25 3rd	7											
17 4th	12											
OT												
81 ○		52 ●										

主審:Referee
佐藤 匠 秋田
副審:Umpire
疋田 晋 秋田
菅原 桃子 秋田
テーブルオフィシャル:Table officials
横手市協会

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	
4	/	成田 麻沙美		11	3	1	0	0	0	x	村 木 愛		2	0	0	2	4	
5	x	矢上 若菜		4	0	2	0	2	2	x	久岡 真歩子		2	0	0	2	0	
6		鈴木 友佳子		-	-	-	-	0	0	/	藤 森 恵		1	0	0	1	1	
7	/	小松 恵		13	0	5	3	1	1	x	高橋 ゆつき		10	0	4	2	2	
8	/	阿部 優美香		7	1	2	0	1	1	/	堀田 優奈	CAP	4	0	2	0	3	
9	x	橋田 幸華		6	2	0	0	2	2	/	岩崎 みさこ		2	0	1	0	0	
10		柏 詩乃		-	-	-	-	0	0	15	田邊 風香		-	-	-	-	0	
11	x	加藤 千夏		11	0	4	3	0	0	19	/	土岐 侑加		2	0	1	0	1
12	/	加藤 三津子		3	1	0	0	1	1	23	x	柿沼 かすみ		13	1	5	0	3
13	x	伊藤 美和子	CAP	16	3	3	1	2	2	27	/	成田 あゆみ		10	0	4	2	5
14		星 希望		-	-	-	-	0	0	51	x	澤田 七海		2	0	1	0	1
15	/	浅 利 愛		6	0	3	0	2	2				-	-	-	-	0	
16	/	柴田 知恵		0	0	0	0	2	2				-	-	-	-	0	
17	/	高橋 芙由子		2	0	1	0	1	1				-	-	-	-	0	
18	x	小林 彩花		2	0	1	0	1	1				-	-	-	-	0	
				-	-	-	-	0	0				-	-	-	-	0	
				-	-	-	-	0	0				-	-	-	-	0	
				-	-	-	-	0	0				-	-	-	-	0	
				-	-	-	-	0	0				-	-	-	-	0	
コーチ		小笠原 真人								コーチ		孫 潔 萍						
Aコーチ		野村 直子								Aコーチ		田中 麻美						
合計				81	10	22	7	15		合計			48	1	18	9	20	

※x:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

第1ピリオド:両チームハーフコートマンツーマンでスタート。秋田銀行の#13リバウンドシュートで先制、プレステージも負けじと#51ステップシュートを決める。両者シュートミスにより得点が伸びないまま5分が過ぎ4-4と均衡状態。6分過ぎプレステージがタイムアウトを要求。両者とも徐々にエンジンはかかるが、秋田銀行はリングに嫌われているのか得点が伸びない。15-13秋田銀行リードで終了。

第2ピリオド:秋田銀行#13#4の連続シュートが決まり、プレステージはたまたまタイムアウトを要求。その後も秋田銀行の勢いは止まらず10点差とする。プレステージは#27、#7のインサイドプレーにより応戦。秋田銀行は#4のスリーポイントと#7のリング下やフリースローで引き離しにかかるが、プレステージ#27が終盤、連続得点により意地を見せる。前半は39-33で秋田銀行リードで終わる。

第3ピリオド:秋田銀行は速いパス回しから#13#9のスリーポイントシュートが決まる。プレステージは開始早々タイムアウトを要求。プレステージは#23ジャンプシュートで得点するが秋田銀行の勢いは止まらず#9、#4のスリーポイントシュートで、更に引き離しにかかり60-35とする。一方プレステージ#14の2Pと#23のスリーポイントが決まるが、秋田銀行はアウトサイドとインサイドを使い分け64-40と差を広げて3ピリオドを終了。

第4ピリオド:秋田銀行は一部のメンバーの入れ替えを図りながらゲームを進める。序盤は一進一退の状態が続くが、地力に勝る秋田銀行が徐々に点差をさらに広げ、4分過ぎ30点以上の差がつく。しかし、プレステージも最後の粘りを見せ#8、#19、#7が連続的に得点を決める。秋田銀行はリードを守りながら81-52で今大会18連覇を飾った。